

事業所における自己評価結果

公表日： 2022年3月15日

事業所名 いずみ園

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11	7	4	・部屋が狭いので仕方がない ・時間差でクラスごとの行動だが、かぶってしまう時は多い ・静養室に物が混在している 工夫しているが、部屋数が少なくクールダウンや静養室として使うには、厳しい面を感じる	ガイドラインの基準に準じた広さとなっています。 トイレや静養室の利用等、職員からアイデアをもらいながら検討していきたいと思います。
	② 職員の配置数は適切であるか	18	4	0	・スタッフが突然休みになり足りない時がある ・昔はパートが進行することもあったが、最近は適材適所と考えてきているようです ・1人担任では、仕事量が多いように	ガイドライン以上の体制で職員配置はしていますので、引き続き工夫し協力しながら良い支援を心掛けていきます。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	18	3	1		写真カードやマクソンサインの視覚的構造化を行っています。子どもたちが過ごしやすい環境を提供できるよう工夫していきます。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	6	2	・床の上に引いてあるマットがずれていて、つまずいたり、マットがめくれて転んだりする。	マットは新しいものを購入したり、滑り止めを設置するなど工夫を行っています。今後も環境整備を継続し、清潔な空間、安全な空間を維持していきます。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	16	6	0		毎日のミーティング時に情報を共有しています。引き続きスムーズに情報共有できるよう、記録の確認や意識の改善に努めていきます。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	20	2	0		職員間で情報をしっかり把握し、今後の業務改善に努めていきます。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	14	8	0		あかりホームページに記載されています。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	11	8	3		今後も要検討していきます。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	15	4	3	・職員の能力にばらつきがあり、困ることが多い。 ・コロナ禍ということもあるが、研修が少ないと感じる。常勤への研修はもちろん希望があれば非正規も参加できる研修を設けて欲しい	研修には多くの職員に参加していただけるよう、ミーティングなどを活用して内容を検討していきます。
	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	20	2	0		保護者から出されるニーズを確認し、支援計画に反映しています。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	15	7	0		アセスメントツールは、情報共有の大切な資料として活用しています。また、前年度との比較等にも使用し、支援に繋げています。

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14	7	1		園で行える支援を計画し、サービスの提供を行っています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15	7	0	・日々違う担当が毎度支援計画と照らし合わせた支援が出来るとは考えられない。他のクラスまでは困難 ・支援計画について評価過程は半年に1度するが、日々基づいた支援の確認評価をしているように感じない	利用者さんに色々な人と接することを経験してもらうため、現在の支援体制にしています。そのうえで、全体を把握している担任職員がおり、必要に応じて情報は共有できている状態です。また、支援計画は、職員が「同じように対応ができる」ことを意識して作成しています。 各職員には支援前に計画などを確認してもらい、どういった意識で支援することが必要なのかを、考えてもらっています。現在、振り返り(評価)の把握は、担任が記録から行っていますが、今後より良い方法も検討していきます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	14	6	2	・一部の職員だけが発言し、その通りに他の職員が動いている。	ミーティングで情報を確認し、支援へと繋げています。皆で話し合った様々な意見を実践し、考察しながら良い方法を選択していきます。今後は意見の出しやすい環境づくりを進めていって、ミーティングの更なる活性化を図りたいと思います。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	7	5	・利用者の状況、状態に合わせて変えたほうが良い。	「意味」があって固定されているプログラムもありますが、その意味を理解してもらうことが必要だと感じています。理解できたことを確認しながら、少しずつ活動に変化を加えていくつもりです。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	15	7	0		個別と集団それぞれで必要なことを考え、個々にあった内容の支援計画を作成しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	15	4	3	・特定の職員の発言だけを聞き、進めている。 ・非常勤職員はあまりしない。するかしないかは、その人のやる気や仕事に対してのモチベーションによる気がする	現在、打ち合わせが全員で行えないため、ホワイトボード・日誌・記録等で情報を共有しています。出された意見を支援に生かし、その結果を再検証して、より良い内容に調整していきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	21	1	0		毎日ミーティングを行い、情報を共有しています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	22	0	0		次回の支援に役立てるよう、わかりやすく要点をまとめて記録していきます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	19	3	0		相談支援事業との連携により、必要に応じて職員間で確認していきます。
	関係機	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	17	5	0	
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	17	5	0		必要に応じて関係機関と連携を取りながら行います。
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	13	8	1	・医療、利用施設との情報の共有や連携は必須だが、コロナで出来ず。	必要に応じて関係機関との連携を行っています。
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	10	11	1	・書面のみ	医師からの指示書により対応させていただいています。その他必要に応じて関係機関との連携を行っています。

機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	16	5	1		就学前には学校や幼稚園などと連携し、訪問を通して各関係者との相互理解を図っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	15	7	0		連絡をとりあったり、訪問していただきながら情報を共有しています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	11	8	3		他の事業者や専門職と連携をとり支援へと生かしてまいります。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	3	15		他施設の方向性やご家族の意見も踏まえたうえで、検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7	8	7		協議会も増えましたので、積極的に参加していくよう都度検討していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	18	4	0		常日頃からコミュニケーションは大事にしています。コロナ禍のため、電話も活用しながら共通理解に努めていきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	9	9	4		学ぶ機会を増やしていけるように検討していきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	19	3	0		契約時にご説明させていただいています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	19	3	0		ご契約時に説明させていただきますが、支援計画配布時にも再度説明のうえご同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	18	4	0		コミュニケーションを大事にして、お話する機会を増やすよう意識しています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	9	7	・把握しておりません。今コロナ禍である為開催については、厳しいのではないかと思いました。	保護者会などはコロナ禍で開催できませんでしたが、状況を見ながら再度検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	4	0		コミュニケーションを大事にしています。また、迅速に対応できるようにしていきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	22	0	0		各クラスでおたよりを発行し、掲示・配布させてもらっています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	20	2	0		個人情報の漏洩には十分注意を払っています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	20	2	0		マカトンサインや写真カードを使用し、引き続き子どもたちと意思疎通を高められるよう技術を深めていきます。

	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	5	11		現在行えていませんが、外でお会いした際には子どもたちと一緒にご挨拶させていただきます。
非常時等の対応	④⑪ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	19	2	1		マニュアルの周知は今後もしっかり行っていきます。
	④⑫ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	21	1	0	・避難食など確保が必要に感じる	毎月消防訓練を行い、年2回消防署員の立ち合いもお願いしています。備蓄品の確認も定期的に行っています。
	④⑬ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	19	2	1		入園時には必要な情報を保護者からお聞きしています。その後の変化なども共有しています。
	④⑭ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	19	3	0		アレルギーについては、保護者を通じて確認しています。食事の際は食器の色を変えるなど工夫して、支援職員と調理員で確認のうえ提供します。
	④⑮ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	22	0	0		ミーティングの際に共有しています。次回の支援に生かせるよう確認を行います。
	④⑯ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	19	2	1		虐待防止研修を毎年行っています。共通の認識が持てるようにしていきます。
	④⑰ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	21	1	0		保護者に同意書の記入をしてもらうとともに、支援計画への記載や記録を付けています。